

## 今からできることって何だろう?～中学部編～

今からでも早くない、今からでも遅くない！進路指導ですが、前号の小学部編に引き続き、今号では、“心がけてほしいこと、身に付けてほしい力～中学部編～”をお届けします。前号でもお伝えしましたが、以前に高等部で中南地区の就労先や施設に対し、「学校生活を終えるまでに、身に付けてほしい力」についてアンケートを取りました。その結果を基にして、小学部—中学部—高等部と段階的に、進路指導部として考える必要な力について載せています。

- ①挨拶と笑顔・・・・・・・・挨拶と笑顔は、実習先や進路先での評価が確実に高くなります。その日の気分左右されず、誰にでも元気で笑顔で挨拶ができているでしょうか。  
△「～先生、おはようございます」→◎「おはようございます！」
- ②毎日登校・・・・・・・・欠席が多いと、卒業後の進路でその理由について問われます。  
卒業しても、毎日休まずに通うことができる人は信頼されます。  
休まずに毎日登校するための心と体。中学部時代には、生活リズムや健康といった基礎的生活習慣を安定させるようにしましょう。
- ③自分のことは自分で・・・・・・・・身だしなみや清潔はもちろんのこと、着替えの準備、靴ひもを結ぶなど身近なことを高等部でも練習するのでは、現場実習どころではありません。  
コツコツと自分のことは自分で行うことが大事です！まだできていなくても、自分でやってみようとしているかが重要です。
- ④協力して行う・・・・・・・・仕事のほとんどは協働作業です。周りを見て自分から手助けや手伝いができるように、親や兄弟の家事や買い物などをどんどん手伝わせましょう。  
自分から気付いて動ける、助けられるように意識しましょう。



### 中学部 校内実習を終えて・・・



中学部の校内実習が、10月24日～30日までの5日間行われ、牛乳パックをリサイクルした紙製品づくり（封筒、ランチョンマットセットなど）、ビーズ製品づくり（ストラップ、キーホルダー）に取り組みました。今年も、紙製品のラッピングや型抜きした紙片の貼り付け、袋詰めなど、紙製品づくりの全工程を生徒達が分担して行いました。作った製品は、今年も黒養祭で販売し、過去最高額の19,600円を売り上げることができました。学部のお疲れ様会では、自分や友達の頑張りを褒め合いながらお菓子とお茶で乾杯しました。この経験を今後の進路学習に生かしていきたいと思います。保護者の皆様、ご協力ありがとうございました。



## 青森県特別支援学校技能検定・発表会（高等部）に参加してきました！

10月24日（木）、新青森県総合運動公園マエダアリーナにて、青森県特別支援学校技能検定・発表会が開催され、高等部から希望者8名の生徒が参加してきました。今年は、総合的な学習の時間及び総合的な探究の時間に、各部門の練習時間を設けて取り組みました。限られた練習時間でしたが、一人一人が集中して練習に励み、当日を迎えることができました。県内の特別支援学校生徒が集うこの技能検定・発表会に参加したことで、刺激をもらい、自信を付けたり、もう少し頑張ろうという気持ちになったりし、卒業後の社会的・職業的自立に向けて、意欲を高めることができた様子でした。結果は以下のとおりです。

### ◆職業技能部門◆

#### 【清掃分野・基礎コース】～自在ぼうき～

（高2）・・・・・・1級

（高1）・・・・・・2級

（高1）・・・・・・2級

#### 【清掃分野・基礎コース】～テーブル拭き～

（高1）・・・・・・1級

（高1）・・・・・・1級

#### 【清掃分野・応用コース】

（高2）・・・・・・2級

#### 【パソコン入力分野】

（高3）・・・・・・3級

（高3）・・・・・・6級



## 第3回 がむしが丘青年学級 開催！



今年度最後の青年学級は、11月23日（土）、黒石養護学校を会場にして行われました。今回は、本校の黒養祭の発表鑑賞、中学部・高等部の製品販売やPTA主催のお楽しみコーナーに参加し、最後に閉級式を行うという新しい内容でした。

参加した方々からは、「太鼓演奏は高等部三年生のときを思い出して感動した」「また買い物をしたい」など、好意的な意見が多く聞かれました。また、本校が会場ということで、本校職員と卒業生、保護者の方々が顔を合わせたり、近況を話したりするよい機会ともなりました。

今年度の青年学級は今回で終わりとなります。来年も、卒業生の余暇活動や気分転換、興味・関心を広げる機会にしたいと思っています。

